



青き楓

島高だより
平成24年11月号
(通巻第80号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄

八十路越え「校舎本館」に想う

校長 北浦 剛資



島高生の「S」は「Stoic」のS。風雪に耐える校舎本館は、そのシンボルだ。

■遠きにありて思ふもの

玄関前の楓が色づいてきた。春の浅緑から炎暑の下で濃さを増し、冷気に触れて今紅葉を迎えている。思えば今年は、季節の移ろいとともに関西各地を転々とした。特に「楓」が取り持つ各地区同窓会には、6月、島原城の石垣が崩れるという豪雨禍と重なった関西地区を皮切りに、8月、玉竜旗日本一の余韻が残る福岡地区、そして10月には、関東、長崎、地元島原と立て続けに開催され、毎年開校記念日の11月1日恒例の有明地区まですべてに参加し、貴重な出会いと多くの感動をいただいた。それぞれに、新着任の校長として挨拶の機会を与えられたが、各地区の同窓生の皆さんへの敬意を表しつつ、その想いを拝察しながら、伊勢物語に出てくる「かきつばた」の五文字を句の上に据えて詠んだ歌を模して、会の名称を織り込んだ「折句(おれく)」を披露した。「関東島高会」では、「感無量／遠くに思う／島原の／校舎ゆかしく／快晴なりや」。澄みきった空を背景にそびえるダークブラウンの校舎本館を、異郷の地から偲ぶ様子を詠んでみた。

■校舎に対峙し身を正す

昭和6年竣工の本館は、既に82年目を迎えるが全くびくともせず、今もその威容を誇っている。先日の「心に響く人生の達人セミナー」の講師、本校49回生で長崎大学病院の松島加代子医師は、「島高は私の原点、卒業時に恩師から言われた『今の気持ちを忘れるな』を確認するため帰省のたびに島高の正門に立つ」とおっしゃった。私も毎朝出勤する際、校舎本館に向かうと、また今日一日が始まるという緊張感と責任感で身が引き締まる思いがする。長い歴史に裏打ちされたアカデミックな校風が今に息づく島原高校で学ぶ喜びを確認するためにも、在校生にもぜひ、回り道になっても正門からの登校をお勧めしたい。

12月 行事予定

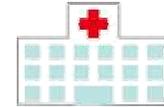
- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1日(土) 土曜講座(1・2年)
全統プレ(3年 ~2日) | 15日(土) 土曜講座(全学年)
GTEC(2年) |
| 3日(月) 修学旅行(2年 ~7日) | 18日(火) 三者面談(1・2年 ~28日) |
| 4日(火) 地学講座(理数科1年) | 21日(金) 終了式・大掃除
3年生激励会 |
| 5日(水) 異世代交流体験学習(1年) | 22日(土) 冬季補習(3年)
県一斉実力テスト(1・2年) |
| 6日(木) 三者面談(3年 ~14日) | 25日(火) 授業設定日(~26日) |
| 8日(土) 土曜講座(1・3年)
GTEC(1年) | 27日(木) 冬季補習(全学年 ~28日) |
| 10日(月) 19時完全下校徹底週間(~14日)
歳末助け合い募金(校内 ~14日) | 29日(土) センタープレテスト
(3年 ~30日) |
| 11日(火) 歳末助け合い募金(街頭 ~12日)
地学巡検(理数科1年) | |



「心に響く人生の達人セミナー」

教務部 五反田 恵

- ◆期日 11月16日(金)
- ◆講師 松島 加代子 氏(本校49回生、長崎大学病院消化器内科・医療教育開発センター助教)
- ◆演題 「夢の実現と後輩たちへのメッセージ」
- ◆講演概要
- 後輩たちへのメッセージ
 - 常に心を開いておくこと(学ぶべきことは近くにある、身近な友人、先生から。)
 - 回り道、失敗なんてない。(自分次第で逆境もエネルギーになる。)
 - 省みること。(自分自身を振り返り、他者からの助言を恐れないこと。)
- 高校時代の思い出
 - 医師か学校の先生になるか迷ったが、兄たちの影響や恩師の助言で小児科医になることを決意。
 - 弁論部では、九州大会に出場するなど人前で話すことに自信をつける。
- 大学、研修医、大学院での思い出
 - 教授から声をかけられたら、その助言に耳を傾け恩師と共に研究をしてきた。(心を開くこと。)
 - 初めに取り組んだ研究は成果がでなかったが、その後の研究につながり無駄にならなかった。(回り道、失敗なんてない。)
- 臨床医として
 - カプセル内視鏡、超拡大内視鏡の研究を行う。
 - 海外の学会に出るモチベーションの一つは、フェルメールの絵画を見ること。
 - アメリカやカナダに留学し、最新医療や医療システムを学ぶ。
～ 世界を知って日本を知る。 世界を知って自分を知る ～
- 今後の目標
 - よい教育者になること。
 - 臨床能力の向上 一症例を大切に!



みなさんも島高生の誇りを持って
頑張ってください。



体育部活動生支援学習会

生徒会指導部 谷口 英次

文武両道の実現に向けて、1年生の体育部活動生を対象に学習面でのサポートとして2泊3日での学習会を年に2回実施しています。今年2回目の学習会は、11月5日(月)~7日(水)に行われ、7つの部活動から34名が参加しました。通常より少し早く部活動を切り上げ、夜の11時20分まで学習します。国語・英語・数学の先生方が夜遅くまで質問に対応していただき、参加生徒にとって充実した3日間になったようでした。

【生徒感想】

- 家で勉強するのは違い勉強だけに集中することができました。先生方も親身に対応してくださいました。(1年男子 野球部)
- 全員が真剣に勉強に取り組み先生方には質問ができたので、とても充実した学習会でした。(1年女子 剣道部)
- 期末考査も近いので、こういう機会を設けてもらったことはとても良かったと思います。(1年男子 レスリング部)
- 合宿で普段の時間の使い方のまずさが分かり、これからはもっと時間を有効に使いたいと思います。(1年男子 バレーボール部)

島原高校は
部活動生を応援します



ようこそ 糸満高校

学校訪問・交流体験



体験授業

11月15日(木)～16日(金)に沖縄県立糸満高校の教職員3名と生徒9名が本校を学校訪問されました。学校説明・学校見学・授業参観・体験学習・部活動見学・生徒会との交流会などの情報交換が行われました。「文武両道を、けじめをもって、全力で実践している“島高生”は、Super Student Shimakosei(3S)」と語られ、感激されて帰途に就かれました。

【生徒感想】

- 研修中に何度も「島高生」になりたいと思うほど、素敵な学校でした。(2年女子)
- 授業中の聞く態度や発言がすごく、また、部活動も全力でかっこよかったです。学校全体の雰囲気も素敵で、通いたいくらいです!(2年女子)
- 島原高校生は全員が真剣に授業に取り組んでいて、先生に当てられてもすぐに答えていて「すごい」と思いました。(2年男子)
- 私が特にすごいなと感じたところは部活動と校歌の斉唱です。どれも糸満高校との違いがたくさんありよい経験になりました。(2年女子)
- 島高生は文武両道を実践していて、素晴らしいと感じました。私も沖縄に帰って本気で文武両道をやろうと思いました。(2年女子)
- 盛り上がるときは盛り上がり、授業など集中しなくてはいけない場面になれば、すぐ切り替えられるところは素晴らしいと思いました。(2年男子)
- 勉強に対しての積極的な取り組みと、時間のけじめなど、素晴らしいとても見習いたいと思いました。(2年男子)

人権教育

研修部 浦田 裕美



11月7日(水)LHRの時間に全校生徒が集まり、人権について考えました。今年度は「いのち」と「人のつながり」がテーマであるドラマ『クリームパン』を鑑賞しました。生徒たちは普段、何気なく使っている言葉が人を傷つけたり、逆に救ったりすること、そして人は人との関わり合いの中で生きているということを再認識したようでした。



【生徒感想】

- 児童虐待というのは、周りが助けに入ってもやらないと解決できないものだと思います。現在では「自分に関係ない」ということで見て見ぬふりをしているから手遅れになってしまうことが多いのだと思いました。人は、他の人との関わりの中で生きているのだから「自分には関係ない」ということはないと思います。(3年男子)
- 何気ない一言で人は傷ついたり嬉しくなったりします。言った本人は自覚がなくても言われた側の心は大きく変わります。私の言葉で救われる人が少しでも増えてくれれば自分も嬉しいです。これからはもっと“言葉”を大切に人間関係を築いていこうと思います。(2年女子)

読書会

11月5日(月)の放課後、第2回「読書会」が行われました。今回は遠藤周作さんの著書である『沈黙』を読み、「なぜ、何の為に神は「沈黙」しているのか?」というテーマで意見交換を行いました。生徒と教員が一緒になって、一つの作品についてそれぞれが感じたことを発表し合う有意義な時間となりました。



最後に、遠藤周作文学館学芸員の池田静香さんから、この本に込められた作者の思いについてご説明いただき、作品の理解がより深まりました。遠藤周作さんは、この『沈黙』以降、1年に1作品は長崎を舞台にした作品を執筆されているそうです。他の作品もぜひ読んでみたいものです。

高校生さわやか運動

生徒会指導部 谷口 英次



あいさつ運動

11月は県内すべての高校で取り組む「高校生さわやか運動」の強調月間です。本校では今年も登校時の挨拶運動、ゴミの分別活動を行っています。挨拶運動は11月12日からの1週間、1・2年生の規律委員、正副議長および生徒会常任委員で当番を決め、朝7時10分から7時25分まで校門に立ち、本校生徒や通学中の小・中学生、地域の方に挨拶を行いました。ゴミの分別活動は毎週月曜日、美化委員と生徒会常任委員が当番で、購買部横のゴミ箱の分別状況を点検し、正しく分別し直す作業を行っています。こちらは12月まで行う予定です。高校生さわやか運動をきっかけに、挨拶や美化への意識がますます高まり、来年本県で開催される全国高等学校総合文化祭と北部九州インターハイにも生かされることを期待しています。



主な部活動成績

長崎県高等学校新人体育大会

- 剣道部男子
 - 団体の部 **優勝**
 - 個人の部 **優勝** 上村 貴弥
- 剣道部女子
 - 団体の部 **優勝**
 - 個人の部 **優勝** 土居 裕佳
 - 準優勝 山本 杏里

○レスリング部

- 団体の部 **優勝**
- 個人の部
 - 50kg級 **優勝** 岡田 幹大
 - 55kg級 **優勝** 元田 雄大
 - 60kg級 **優勝** 伊藤 奨
 - 66kg級 **優勝** 佐藤 輝翔
 - 74kg級 **優勝** 永石 洸
 - 84kg級 **優勝** 本多 正龍
 - 準優勝 上田 一志
 - 喜多 健

○体操部男子

団体の部 第3位

○体操部女子

団体の部 第2位

○弓道部女子

全国高等学校選抜大会長崎県予選大会 団体の部 第3位

○バスケットボール部女子

中地区高等学校新人体育大会 **優勝**

長崎県高等学校総合文化祭 第18回科学研究発表大会

○理学部

口頭発表の部 生物・地学部門 **優秀賞(全国大会出場)**

展示発表の部 優秀賞
「有明海に残る干潟でみる生物多様性—島原半島のベントスについて—」

○理数科

口頭発表の部 生物・地学部門 **優秀賞(全国大会出場)**

「眉山崩壊における流れ山の分布」

○税に関する高校生の作文

福岡国税局長賞 佐藤 麗
島原税務署長賞 中島 祐子
島原税務弘報協議会優秀賞 田中 圭一